

もっとかわいい編み物を作つてみよう!



これらの編み物は、ハピネットのホームページで作り方を紹介しているよ!大人の人と一緒に、見てみよう!
おもちゃ屋さんへ行こう!
<http://www.happinettos.com/>

警 告 (けいこく)

保護者の方へ 必ずお読みください。

- 小部品があります。誤飲、窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 生後18ヶ月未満のお子様には絶対に与えないでください。毛糸で首を絞める危険があります。
- かぎ針とし針の先端部は、機能上、尖っていますので危険です。

注 意 (ちゅうい)

- つくり方説明書を必ずお読みください。
- 毛糸は、指などに巻きつけたりしないでください。血がよわくなり危険です。
- 毛糸は、首にかけてふざけたり、乱暴に遊ばないでください。窒息などの危険があります。
- ぶつけたり、振り回すなど乱暴な遊びをしないでください。
- ご使用後は、対象年齢未満のお子様の手の届かないところに保管してください。
- 破損・変形の原因になりますので、できあがった作品は、強く引っ張ったり無理な力を加えないでください。

●この商品はニット編みのセットです。●パッケージに記載されている写真は、イメージです。実際の内容物と多少異なる場合がありますのでご了承ください。●追加で毛糸が必要な場合は、市販のものを別途お求めください。●この商品に入っているものでパッケージのすべての作品を同時にすることは出来ません。●袋は梱包材ですので開封後はすぐに捨ててください。

2016 MADE IN CHINA

対象年齢6才以上

[製品素材]
リング、かぎ針、とじ針：ABS 毛糸：アクリル

発売元 株式会社ハピネット

〒111-0043 東京都台東区駒形2-4-5 駒形CAビル
<http://www.happinettos.com/>

ハピネットお客様相談窓口 **0120-755-995**
電話受付時間：月～金曜日(祝日を除く) 10時～17時
●電話番号を良く確かめてお間違いないようにご注意ください。



ハッピーニット

はじめてでもカンタン!あみものセット

つくり方説明書



セット内容

- リング…1個
- かぎ針…1本
- とじ針…1本
- 毛糸(赤・水色・紫)…各約70m
- ポンポンツール(大・小)…各1枚
- つくり方説明書…1部(本書)



かぎ針



とじ針



ポンポンツール(大・小)



毛糸



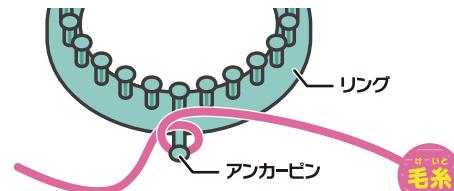
リング

あみもの きほん編

はじめの編み方

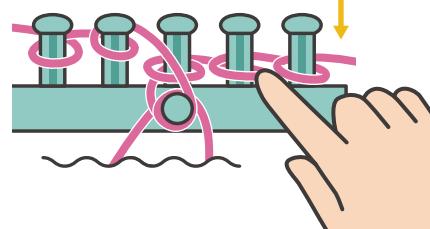
1 アンカーピンに毛糸を巻きつけよう

リングのアンカーピンに毛糸のはしを15cmくらい残して、ほどけないようにしっかりと巻きつけます。



3 毛糸を下におろそう

最後まで巻き終えたら毛糸をアンカーピンに巻きつけて置いておきます。ピンにかけたすべての毛糸を下におろします。



5 かぎ針をつかってピンから毛糸を外そう

かぎ針で図のようにピンの下の毛糸を引き上げて、ピンから外します。

他のピンも同じように外して、すべてできたらピンに巻きつけてある残りの毛糸は、下におろします。

これで一段編めました。

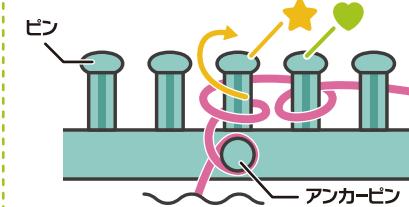
いちだん、一段編めたら、④ → ⑤ をくりかえすことでなん段も編むことができます。

①でアンカーピンに巻いた毛糸のはしは、5段ほど編んだらアンカーピンから外してください。
さいごの仕上げについては、次のページの「あわりの編み方」を見てください。

ハッピーニットでつくる、はじめの編み方

2 ピンに毛糸を巻きつけよう(1)

毛糸を図のように★のピンに巻きつけ、●いこうのピンにも巻きつけていきます。



4 ピンに毛糸を巻きつけよう(2)

置いておいた毛糸をアンカーピンから外し、毛糸を図のように★のピンに巻きつけ、●いこうのピンにも巻きつけていきます。

最後まで巻き終えたら毛糸をアンカーピンに巻きつけて置いておきます。



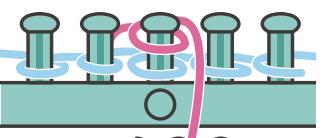
*巻き終えた毛糸は、わかりやすいように色を変えています。

おわりの編み方

リングから外すためのおわりの編み方

1 毛糸を巻きつけよう

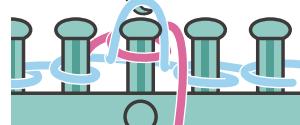
ピンに毛糸を巻きつけます。



*わかりやすいように毛糸の色を変えています。

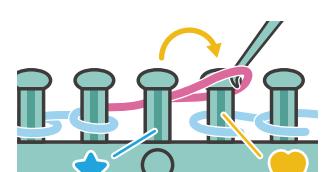
2 ピンから毛糸を外そう(1)

かぎ針でピンの下の毛糸を引き上げて、ピンから外します。



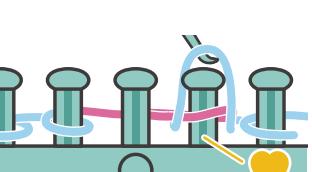
3 毛糸をうつそう

★のピンに残っている毛糸を●のピンにうつします。



4 ピンから毛糸を外そう(2)

かぎ針で●のピンの下の毛糸を引き上げて、ピンから外します。

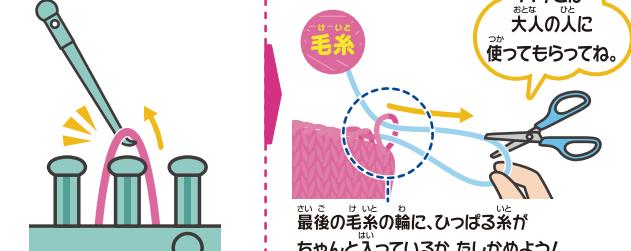


5 リングから編んだものを外そう

●のピンからまた①→④をくりかえしていきます。
最後のピンは、②まで終えたら図を参考にリングから編んだものを外してください。

残りの毛糸をかぎ針でひっかけたまにします。

かぎ針にひっかけた輪を指でひっぱって必要な長さで切れます。



6 おわり編みをしたあとの仕上げをしよう

最後の列の編み終わりのところは、同じ列の始めと編めていないので、とじ針をつかって図を参考に仕上げてください。

毛糸のはしをかくす場合は、とじ針に毛糸を通したままにして、次のページの「毛糸のはしのかくし方」を見てください。

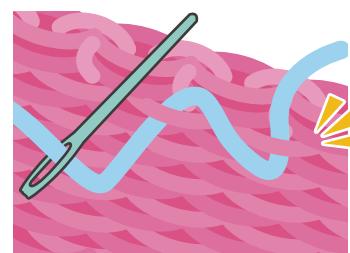


毛糸のはしをかくし方

毛糸のはしをかくそう

おわりまで編んだ毛糸がほどけないようにします。
編んだもののうら側または、はしの目立たないところ
で仕上げます(図は編んだもののうら側です)。
編み目の毛糸の上の部分(表まで通さないように気を
つけてください)をとじ針ですくって毛糸を通します。
同じように2~3目すぐたら毛糸を引いてハサミで
切ってください。

ハサミは大人の人に使ってもらつてね。

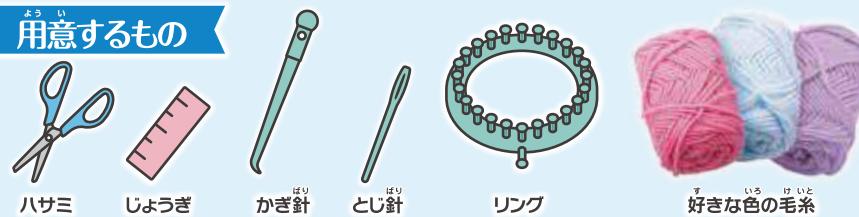


※わかりやすいように毛糸の色を変えています。

毛糸のはしをほどけないようにかくす方法

「リボン」のつくり方

用意するもの



1 リボンを編もう

毛糸のはしを20cmくらい残します。
はじめの編み方(1ページ目)で長さ
12cm(約14段)まで編んでいきます。

2 リングから外そう

おわりの編み方(2ページ目)でリングからリボンを外します。
毛糸のはしを20cmくらい残してください。
とじ針に毛糸のはしを通しておいてください。

3 リボンのはしをとじよう

リボンのはしを図のようにとじていきます。
とじたら、毛糸のはしのかくし方(上記)で
毛糸のはしをかくします。



※わかりやすいように毛糸の色を変えています。

4 真ん中をしぶって完成!

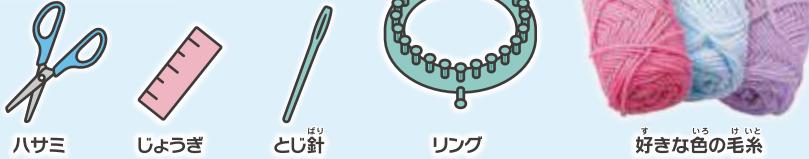
リボンの真ん中を30cmくらいに切った毛糸でぎゅっと
しばり、残った毛糸はぐるぐる巻いていきます。
最後は固結びをして、糸はしをかくして完成です。
安全ピンやゴムなどでアレンジも楽しめます。



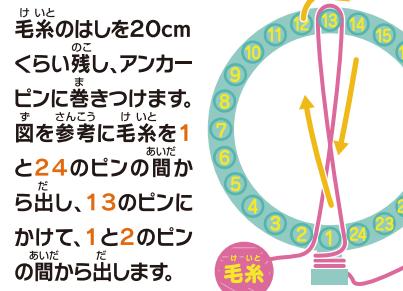
※写真のものは真ん中の毛糸の色を
変えてアレンジしています。

「お花」のつくり方

用意するもの



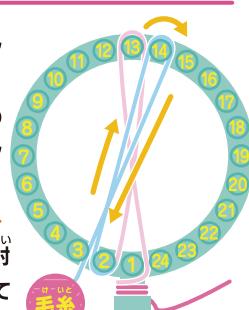
1 花びらをつくろう(1)



毛糸のはしを20cmくらい残し、アンカーピンに巻きつけます。
図を参考に毛糸を1と24のピンの間から出し、13のピンにかけて、1と2のピンの間から出します。

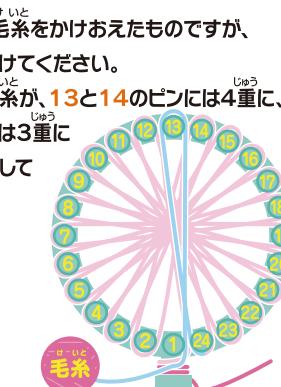
※わかりやすいようにピンに数字を入れています。ピンに数字を書いた紙をテープで付けるとわかりやすくなります。

2 花びらをつくろう(2)

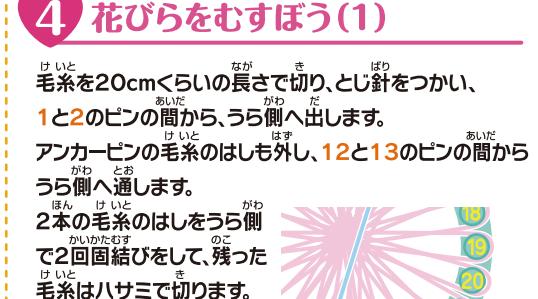


図を参考に1と2のピンの間から出した毛糸を、そのまま2と3のピンの間から出し、14のピンにかけます。
続けて、3→15→4→16→5→17…と反対側のピンに毛糸をかけていきます。

3 花びらをつくろう(3)



図は、1周毛糸をかけえたものですが、3周まで続けてください。
このとき毛糸が、13と14のピンには4重に、他のピンには3重になるようにしてください。

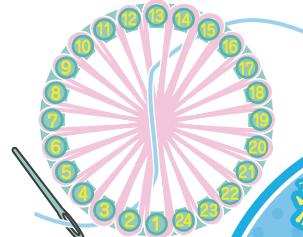


毛糸を20cmくらいの長さで切り、とじ針をつかい、1と2のピンの間から、うら側へ出します。
アンカーピンの毛糸のはしも外し、12と13のピンの間からうら側へ通します。
2本の毛糸のはしをうら側で2回固結びをして、残った毛糸はハサミで切れます。

ハサミは大人の人に使ってもらつてね。

5 花びらをむそぼう(2)

40cm~50cmくらいに切った毛糸をとじ針に通します。
うら側から13のピンの花びらの中にとじ針を通して表側に毛糸を出します。次に1のピンの花びらの中を表側から通して、うら側に出します。



つづく
次のページにつづくよ!

かた
「ポンポン」のつくり方

おとな
ひと
ハサミは大人の人に
つか
使ってもらつてね。

**1 けいとま
毛糸を巻こう**

す
図のようにポンポンツールに
けいと
毛糸を50回くらい巻いてい
きます。

**2 けいとむす
毛糸を結ぼう**

す
図のように30cmくらいに
き
切った毛糸を通して、結び
ます。

※わかりやすいように毛糸の色を変えています。

**3 けいとき
毛糸を切ろう**

す
図のように輪の部分の両端を
ハサミで切ります。
2 けいと
で結んだ毛糸のはしは、
き
切らずにおいてください。

**4 けいとき
毛糸を切りそろえて完成!**

かんせい
毛先の長さを切りそろえて完成です。
2 けいと
で結んだ毛糸のはしを、つけたいものに
むす
き
結びつけることが出来ます。

しゃしん
※写真のものはアレンジ作品です。

さくひん
写真のものはアレンジ作品です。

「マフラー」のつくり方

用意するもの

好きな色の毛糸

1 マフラーを編もう

毛糸のはしを30cmくらい残します。

はじめの編み方(1ページ目)で、マフラーを6cmくらいまで編みます。編めたら、とめる穴をつくるために一段だけ途中の8ピン(右の図参考)でおわりの編み方(2ページ目)をしてください。

おわりの編み方をした一段ができるたら、はじめの編み方で編んでいきます。おわりの編み方をしたピンは、していないピンと違ってピンに毛糸がかかるいません。

右の図を参考に編んでください。

完成形

ここに、マフラーのはしに付けるお花をはめて、マフラーをとめられるようにするよ!

※わかりやすいように毛糸の色を変えています。

2 リングから外そう

首に巻いてマフラーのはしと、はしが重なるくらいまで編みます。おわりの編み方(2ページ目)でリングからマフラーを外します。毛糸のはしを30cmくらい残してください。とじ針に毛糸のはしを通しておいてください。

3 お花をつけよう

首に巻いたときに穴と重なるところに、お花をつけます。くっついたところにとじ針でぬいつけてください。

お花とマフラーの間で毛糸を3~4回巻きます。巻いた所にとじ針で毛糸を貫通させてから、うち側に通して2本の毛糸を固結びします。

4 マフラーのはしと穴をとじて完成!

マフラーのはしと、マフラーの穴を「リボン」のつくり方の3のようにとじます。

図のようにうしろ側の穴と同じ位置にして、とじよう!

「てぶくろ」のつくりかた



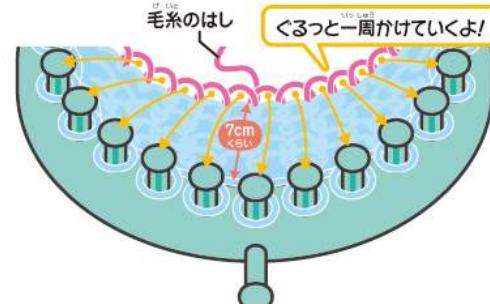
つくり方に書いてある長さは目安です。
右図を参考に自分の手の長さ(手首～親指のつけねまでの長さなど)を計って、
その長さに調整したみてね。



*1色の毛糸でつくります。つくり方では、わかりやすいように毛糸の色を変えて説明しています。

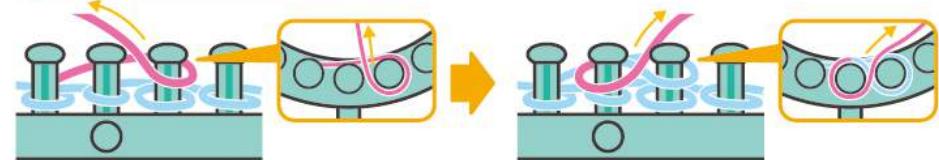
1 手首の折り返しを編もう

毛糸のはしを20cmくらい残して、
はじめの編み方(つくり方説明書1ページ目)で、
7cmくらいまで編みます。
編めたら、一番下の編みはじまりの毛糸を、内側
からピンにかけていきます。一周全部かけたら、
下の毛糸を引き上げて外していきます。

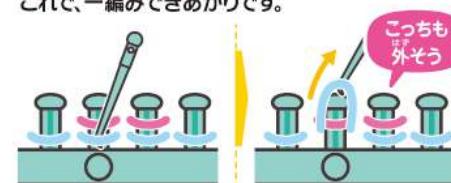


2 手のひら部分を編もう

図のように、ピン2本に毛糸をかけます。



かけたら、下の糸を引き上げて外します。
これで、一編みできあがります。



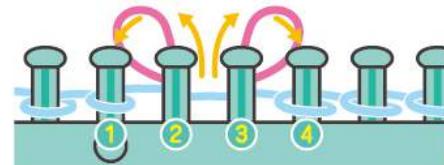
下図のように、ピン1本ずらして、同じように
編んでいきます。



3~4cmくらい(手首～親指のつけねまでの長さ)
まで編みます。

★ 親指の穴をあけよう ★

3~4cmくらい編めたら、②と③の毛糸を
図のように①と④に、かけます。

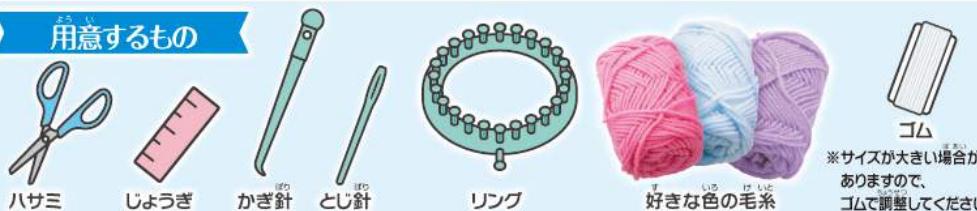


かけたら、手のひら部分の編み方と同じように
編んでいきます。



親指の穴をあけたところから、2~3cmくらい編みます。(手首～手のひらの2/3くらいまで編みます。)

用意するもの



*サイズが大きい場合が
ありますので、
ゴムで調整してください。

3 終わりの編み方をしよう

編めたら、はじめの編み方(つくり方説明書1ページ目)の④→⑤
をくりかえして2~3cmくらい編みます。

編めたら、終わり編み方(つくり方説明書2ページ目)をして、リングから外して、
毛糸のはしをかくしてください(つくり方説明書3ページ目)。

*横幅のサイズが大きを感じた場合は、下の「横幅のサイズが大きすぎる場合は…」を確認してください。

4 ゴムでサイズを調節しよう

サイズが大きい場合がありますので、とじ針にゴム(市販のもの)を
通して、手首の折り返し部分にゴムを入れて調節してください。

折り返し部分の編み目のすき間から、ゴムを入れて、
一周させて、同じすき間から出してください。
手首が締め付けられない程度の
サイズに合わせて結び、
余分な部分を切ってください。



5 もう片方を編もう

もう片方を同じように編んで、
できあがり!

やんせー!!

ポンポンをつけるともっとかわいいよ!
ポンポンのつくり方は、つくり方説明書6ページ目



横幅のサイズが大きすぎる場合は…
指のつけねにもゴムを入れよう

③で最後に編む、はじめ編み方の部分を
5cmくらいまで編んで、終わり編み方をします。
編んだ部分を内側に折り返して、表面に毛糸が出てこないように、
ぬい合わせてください。ぬい合わせて2重になった部分にゴムを
通して、サイズを調節してください。

点線をぬい合わせて
ください



「ポシェット」のつくり方



つくり方に書いてある長さは目安です。
自分の好きなながさにしても、OKだよ！



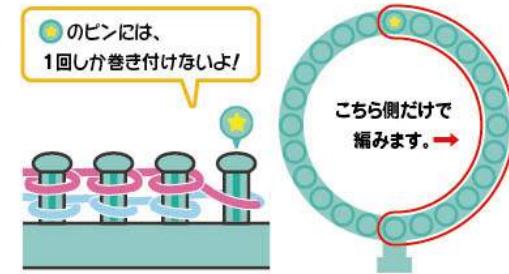
用意するもの



※つくり方では、わかりやすいように毛糸の色を変えて説明しています。

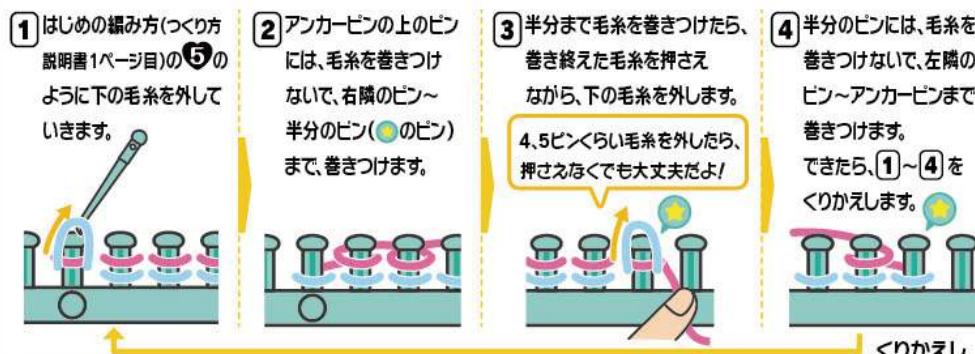
1 片側に毛糸を巻きつけよう

毛糸のはしを15cmくらい残して、はじめの編み方(つくり方説明書1ページ目)と同じように、ピンの半分(●の位置まで)まで毛糸を巻きつけて、下にあおします。半分まで巻いてあおしたら、右図のピンクの毛糸のように左のピンに戻り、毛糸巻きつけていき、アンカーピンのところまで戻ります。



2 フタを編もう

下の編み方をくりかえして、8~10cmくらいまで編みます。
アンカーピンのところで(1)ができたところで終わりにしたください。



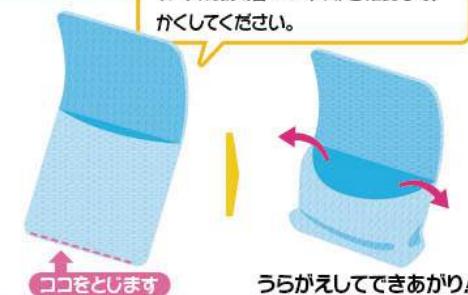
3 ピンに毛糸を巻きつけよう

フタが編めたら、(2)と同じように、アンカーピンの上のピンには毛糸を巻きつけないで、毛糸を巻きつけていき、リング1周全て巻きつけます。

4 ピンから毛糸を外そう

2本かかっているピンを(1)と同じように下の毛糸を外します。
できたら、巻きつけた毛糸を下にあおします。

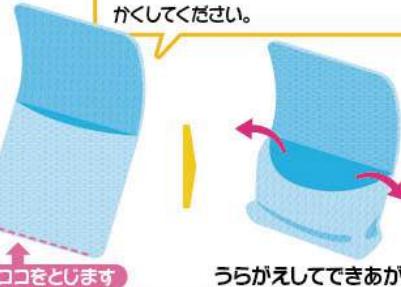
編みはじめの毛糸は「毛糸のかくし方」(つくり方説明書3ページ目)を確認して、かくしてください。



5 フクロを編もう

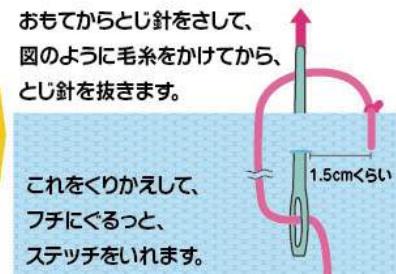
はじめの編み方の(つくり方説明書1ページ目)の④→⑤をくりかえして、フクロの部分を編みます
(フタより2~4cmくらいながく)。

編めたら、「おわりの編み方」(つくり方説明書2ページ目)をしてリングから外し、「リボンのつくり方」(つくり方説明書3ページ目)の③のようにフクロの底をとじてください。

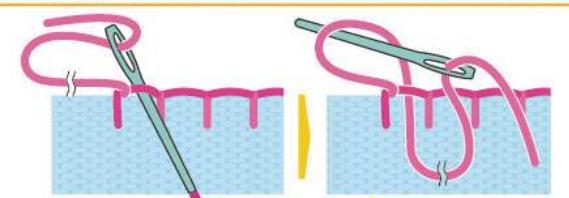


6 フタのフチにステッチをいれよう

とじ針に毛糸を通し、フタのはじから1cmくらいのところに、うらからとじ針を出して、毛糸を通してます。
うら側の毛糸とおもて側の毛糸を根元でしっかりと結び、うら側のあまつた毛糸は切ります。



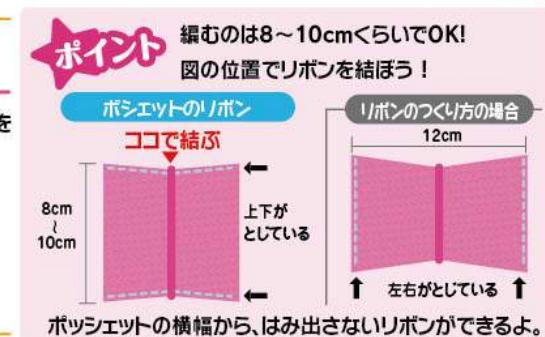
ステッチをいれたら、図のように毛糸を結び、2回くりかえして、ほどけないようにしっかりと結んだら、あまつた毛糸を切れます。



7 リボンをつけよう

「リボンのつくり方」(つくり方説明書3ページ目)を確認してリボンをつくります。

できたら、フタの真ん中につけます。



8 ヒモをつけよう

140cmくらいの毛糸を3本用意します。図のようにみつあみを編み、ヒモをつくります。

フタとフクロのさかいめくらいに差し込み、ながさを調節してはしを結んであまつた毛糸を切ってください。

